ＨＰ掲示用
第 3 版　2019 年 3 月 29 日版

患者さんへ

「肺腫瘍に対するサイバーナイフによる定位放射線治療の成績と有害事象に関する研究」について

神戸低侵襲がん医療センター(以下当院とします)放射線治療科では、当院にて肺癌・転移性肺腫瘍に対する治療法としてサイバーナイフによる定位放射線治療(以下本治療とします)を実施された患者さんを対象に治療成績や有害事象の発現について検討しております。この研究では、本治療法を選択された患者さんに対してその結果を検証するものであり、新規に患者さんへお願いする事はありません。 この調査研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

[研究概要]

肺癌・転移性肺腫瘍に対する治療法の１つとして定位放射線治療が施行されております。当院では主にサイバーナイフを用いて肺腫瘍に対する定位放射線治療を行っております。サイバーナイフは追尾照射が可能で従来の放射線治療に比べ正確な照射が可能とされていますが、その治療結果や有害事象についての報告がまだ少ないのが現状です。そこで、本研究では肺腫瘍に対して本治療を行う患者さんに関して、治療成績や有害事象の頻度を検証し、患者さんに対する本治療の有効性、安全性を調査する事といたしました。また、再発例や有害事象出現例を調査し、その危険因子を明確にすることも考えております。本調査は、すでに実施された過去の記録を調査、検証するものであり、新規に患者さんに何かをお願いする事はありません。

[取り扱うデータ]

2013 年 4 月から 2016 年 3 月までに当院にて肺癌または転移性肺腫瘍でサイバーナイフによる定位放射線治療をうけられた方が対象となります。

対象となった患者さんの採血結果や呼吸機能検査結果、画像検査結果、放射線の線量分布などのデータを電子カルテなどから抽出し解析いたします。

[個人情報保護の方法]

個人情報、データ等は、正確に尚且つ検証が可能なように記録・保管します。登録患者の 同定や照会は、主に登録時に定められた症例登録番号を用いて行われ、患者名など第三者が直接患者を識別できる情報が本試験のデータベースに登録されることはありません。

[研究参加による利益・不利益]

利益・・・本調査に参加いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはございませんが、本研究の成果により、今後に本治療を行うがん患者がより安全に治療を受けることが出来る可能性があります。

不利益・・・診療記録からのデータ抽出のみのため、特にありません。

[研究参加の取り止めについて]

いつでも可能です。参加を辞退されたい場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

[研究責任医師]

神戸低侵襲がん医療センター 放射線治療科　　部長　馬屋原　博

[問い合わせ窓口]

神戸低侵襲がん医療センター 放射線治療科　　部長　馬屋原　博

連絡先:078-304-4100